

きた～!! WILD WIND!![編集する](#)

2007年05月10日 01:56 [友人の友人まで公開](#)

4 view



《写真 1》

今回一緒に行った、山の会の後輩、Kay & Mちゃん。(=78コンビ)
二人とも、学生時代の気分は忘れず、前日は甲府駅構内でも
シュラフ(寝袋)にくるまってぐっすり眠れるヤツらです。
(→おれも久々に駅泊まりしたかったけど、わけあって不参加...。)

《写真 2》

地藏岳山頂(2,764m)。山頂にはお地藏さんがうようよいた...。
(どうやら、登山客がお地藏さんを持ち込んでらしい...。)
山頂の名前からしても、古くから山岳信仰の深かった山と窺える。

当日は天気もよく、360度のパノラマ。どこをどう見ても、
南アルプスの山々のオンパレードでした!!
(写真で遠方に見えるのは、甲斐駒ヶ岳(右)、アサヨ峰(左)。)

《写真 3》

地藏仏(別称オベリスク)の名で親しまれる、
地藏岳山頂のシンボル。遠くからでも一目瞭然の岩。
(→マメ知識。鳳凰山系は、花崗岩がたくさんあるのです。)
山頂付近は、雪解けもだいぶすすんでいました。

というわけで、またまた山に行ってきました。
南アルプス、鳳凰山系にある「地藏岳」。

5/4 韮崎駅～(TAXI)～御座石鉱泉～燕頭山～鳳凰小屋(幕営)

5/5 鳳凰小屋～地藏岳～鳳凰小屋～燕頭山～御座石鉱泉

日程と天気都合上、こんな感じのスケジュール。
まあ、やっぱり山行は毎回いろいろなことがあるわけで…。

出発前夜、忘れ物に気づいて夜行列車に乗り損ねたり、
(→だから、おれだけ前夜の駅泊まりに不参加だったのです…)、

久々にテント担いで、食料持って、かなり身体を酷使したり、
(→なのに、他の登山客から「あら、若いわねえ、学生さん!？」
なんて言われると、がんばれてしまう我々一行。)

途中で雪の上の足跡を追っていたら道迷いもあり、
(→登山道ではない、林やら沢やらを突っ切りました…)

山小屋の缶ビール 600 円と温泉 1260 円にはびっくりだったり、
(→たとえ山だとしても、山の相場からみれば高いっ!!)

でも、やっぱり、

アルプスの稜線に立ち、澄み切った大気の中で、
力強い風を浴びるのが、サイコーですっ!!!!

【おまけコーナー】

★ああ、山の会だなあ、と思ったこと。

休憩ポイントまであと少しというとき。
おれは用を足してくるので、先に行ってて、と二人に伝える。
その後休憩場所に向かうと、なんと二人は重たいザックを
下ろさずに待っていてくれたのだ。

先に着いた人から、さっさとザックを下ろして
休憩に入るのではなく、最後の人が着くまで待ってから、
ザックを下ろそう、という仲間を想う気持ちの表れ。

これ、山の会では暗黙の了解!?

(いや、やっぱりおれの後輩教育がよかったのかな...!?)

まあ、とにかくにも、ココロ温まる仲間に囲まれて、
ああ嬉しがらせてくれるじゃん(泣)、と思える一瞬でした。^^